

令和8年度交付申請 関係様式 記入例

■運営交付金

1 交付申請書

【様式第1号】交付申請書 2頁

2 活動計画書

【様式第2号】活動計画書 3頁

3 収支予算書

【様式第3号】収支予算書 5頁

4 請求書 (日付, 請求額は空欄でご提出ください。)

【様式第5号】請求書 6頁

■活動交付金

1 交付申請書

【様式第14号】交付申請書 7頁

2 活動計画書

【様式第15号】活動計画書 8頁

3 収支予算書

【様式第16号】収支予算書 9頁

4 請求書 (日付, 請求額は空欄でご提出ください。)

【様式第5号】請求書 13頁

令和 8年 4月 1日

笠岡市長 殿

所在地	笠岡市〇〇123-45
協議会名	〇〇まちづくり協議会
協議会長名	会長 笠岡 太郎

令和 8 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）交付申請書

笠岡市魅力あるまちづくり交付金の交付を受けたいので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1 交付申請額 1,507,000 円

（内訳）

交付金①	1,302,000 円	
加算 枠 ②	広報活動	50,000 円
	まちづくり計画策定	25,000 円
	行政間連携事業	130,000 円
計①+②	1,507,000 円	

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）活動計画書（様式第2号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）収支予算書（様式第3号）
- (3) 直近の事務所借上げに係る賃貸借契約書の写し又はこれに類する書類
- (4) 最新のまちづくり協議会の規約及び役員名簿
- (5) その他参考となる書類

記載見本

協議会名 ○○まちづくり協議会

実施期間		令和 8 年4月1日から令和 9 年3月31日まで		
開催予定の会議	会議の種類	開催予定		
	総会 <small>※または総会に準ずるもの</small>	開催時期：	5 月， 開催形式：	対面
	その他会議	開催回数：	12 回 会議の種類：	理事会（2回）， 定例会（4回）， ○○部会会議（6回）
活動費の活動予定	活動名	目的， 活動実施により期待される効果		具体的な活動内容
	広報活動	【目的】 まちづくり協議会の活動状況をより多くの地区住民に周知する。 広報紙を通して地域の状況を知ってもらい， 身近な情報源として役立ててもらおう。	【効果】 地区の状況が相互に分かるようにする。 地区住民のまちづくり活動への参加意識が生まれる。 まちづくり協議会の活動を地区内に浸透させる。 関係人口の増加につながる。	①年4回発行する。 ②内容としては， 予算・活動計画を1回， 活動状況の報告を2回， 年度末に決算報告を1回， 計4回広報紙を発行する。 ③広報誌は各世帯に配布する。 ④笠岡市のHPで掲載する。 ⑤広報紙の他に， 地区内の活動行事のチラシを発行し， 各世帯に配布する。
	環境美化活動	【目的】 地区住民が協力して， 地区内の環境美化を図り， 住みよいまちづくりを目指す。 清掃活動を通して， 地区住民同士のコミュニケーションを図る。	【効果】 地区住民の美化意識の向上させる。 地区の環境を良くし， 近所の仲間意識が高まる。 地区住民の心のやすらぎやこのようなまちに住む誇りが生まれる。 景観の保持や住環境の改善につながる。	※広報活動の場合， 次の項目内容を必ず記載してください。 ①発行回数（予定） ②広報紙の内容 ③配布方法 ④HPに載せているか？ ⑤その他の広報活動
	地域交流事業	【目的】 地区住民の親睦を図る。 郷土に誇りが持て， いつまでも住み続けたいと思うまちづくりを目指す。	【効果】 世代間交流により高齢者は元気をもらい子ども達は伝統文化・知識をもらい， お互いが支えあって地域を禍発にすることができる。	
花いっぱい運動事業	【目的】 地域の道路沿いの花壇や公共施設の花壇に花を植栽し， 地域に潤いを与える。	【効果】 活動を通して， 地区住民同士のつながりが生まれる。 地域の景観の保持や住環境の改善につながる。	花いっぱい運動として地域の中で花を植栽している団体に対して花苗代を助成する。 また， 助成するだけでなく一緒に活動していく。	

活動名	目的、活動実施により期待される効果	具体的な活動内容	
【目的】			
【効果】			
【目的】			
【効果】			
活動費の活動予定	<p>行政間連携事業の種類をリストから選択してください。</p> <p>収支予算書の【収入の部】行政間連携事業の摘要欄と、【支出の部】の行政間連携事業のところに事業名が入ります。</p> <p>(担当課への事前協議が必要です。)</p> <p>【担当課】空き家...都市計画課 防災...危機管理課</p>		
		<p>行政間連携事業</p> <p>防災事業</p>	<p>地区住民がお互いに連携し協力し合って自主的な防災活動を行い、防災・減災に寄与する。 地区住民が訓練や講座に参加することによって防災知識の浸透を図る。 自主防災会や消防団等と連携し、防災について学び、自助・共助の力を培う。</p> <p>【効果】 地区内の防災意識の向上を図るとともに、災害時の対応力を高めることができる。 災害発生時、地区内で住民同士の助け合いの意識が生まれる。</p>
活動費の活動予定	<p>行政間連携事業</p> <p>空き家事業</p>	<p>地区内の空き家の状況を知る。 地元住民だけが知っている地区内の情報を共有し、地区内の空き家状況を調査する。 空き家の利活用について地域みんなで考える。</p> <p>【効果】 地区内の空き家の状況を把握し、危険家屋などの早期発見につながる。 空き家の利活用が促進される。</p>	<p>市の都市計画課と協働して、地区内の空き家調査や空き家の利活用に取り組む。</p>

※ 会議の開催予定及び活動費の開催予定の区分欄は、適宜変更して使用すること。

様式第3号（第5条関係）

記載見本

令和 8 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）収支予算書

申請上限額、賃借料、光熱水費の合計額を入力してください。

〇〇まちづくり協議会

【収入の部】

（単位：円）

費目	金額	摘要	
市交付金(①+②)	1,507,000		
市交付金①	1,302,000	広報活動を運営交付金と活動交付金のどちらの交付金で実施するかリストから選択してください。	
市交付金加算枠②	205,000		
広報活動	(1) 50,000	広報発行予定:年 4 回	交付金の種類: 運営 交付金
まちづくり計画策定	(2) 25,000	策定期間: 令和7~8年度	交付金の種類: 活動 交付金
行政間連携事業	130,000	防災事業	空き家事業
その他収入	0		
		まちづくり計画を策定する場合はリストから策定期間(「令和7~8年度」または「令和8~9年度」)を選択してください。	
		まちづくり計画策定を運営交付金と活動交付金のどちらの交付金で実施するかリストから選択してください。	
計	1,507,000		

【支出の部】

（単位：円）

費目	金額	摘要	
人件費	660,000	会長25,000円×12か月, 事務員30,000円×12か月	
賃借料	240,000	〇〇(拠点)賃借料20,000円×12か月	
光熱水費	102,000	電気代6,000円×12か月, 水道代5,000円×6回(12か月)	
運営費	185,000		
消耗品費	50,000	別紙「【運営費】積算資料」のとおり	
食糧費	12,000	"	
印刷製本費	25,000	"	
修繕料	0	"	
通信運搬費	24,000	"	
手数料	2,000	"	
使用料及び賃借料	48,000	"	
旅費	24,000	"	
	0	"	
活動費	320,000		
広報活動	80,000	別紙「【活動費】積算資料①」のとおり	
環境美化活動	20,000	別紙「【活動費】積算資料②」のとおり	
地域交流事業	60,000	別紙「【活動費】積算資料③」のとおり	
花いっぱい運動事業	30,000	別紙「【活動費】積算資料④」のとおり	
	0	別紙「【活動費】積算資料⑤」のとおり	
	0	別紙「【活動費】積算資料⑥」のとおり	
	0	別紙「【活動費】積算資料⑦」のとおり	
行政間連携事業	130,000		
防災事業	80,000	別紙「【活動費(行政間連携加算)】積算資料⑧」のとおり	
空き家事業	50,000	別紙「【活動費(行政間連携加算)】積算資料⑨」のとおり	
計	1,507,000		

【収入の部】計=【支出の部】計になります。

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

様式第5号（第5条関係）

記載見本

令和 年 月 日

日付は空欄のまま提出してください。

笠岡市長 殿

所在地 笠岡市〇〇123-45
 協議会名 〇〇まちづくり協議会
 協議会長名 会長 笠岡 太郎

令和 8 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）交付請求書

令和 8 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）を請求します。

記

請求額 金 1,507,000 円

※振込口座

金融機関名	●●	銀行・信用組合 信用金庫・農協	支店名	▲▲	本店 支店 出張所				
預金種目	普通・当座	口座番号 (右づめで記入)	1	2	3	4	5	6	7
フリガナ	〇〇マチヅクリキョウギカイ カイチヨウ カサオカ タロウ								
口座名義	〇〇まちづくり協議会 会長 笠岡 太郎								

記載見本

令和 8年 4月 1日

笠岡市長 殿

まちづくり計画を「策定済み」か「未策定」のどちらかを選択してください。
 ※今年度計画策定を始める場合や策定中の場合は「未策定」を選択してください。

所在地	笠岡〇〇123-45
協議会名	〇〇まちづくり協議会
協議会長名	会長 笠岡 太郎
まちづくり計画策定状況： <input type="radio"/> 策定済み <input checked="" type="radio"/> 未策定	

令和 8 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）交付申請書

笠岡市魅力あるまちづくり交付金の交付を受けたいので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1 交付申請額 410,000 円

〔内訳〕

（単位：円）

活動N° (優先順位)	活動名	インフラ上限加算対象	申請額
1	まちづくり計画策定事業		50,000
2	定期便減便対策事業	○	360,000
			0
			0
			0
			0

インフラ上限加算の対象事業(活動)を実施する場合はリストから「○」を選択するか、「○」を直接入力してください。
 ※インフラ上限加算とは・・・
 個人では対応できない、かつ民間でも採算が取れないために算入できない分野の事業について上限額を加算するものです。
 (例)交通, 買い物支援など

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書（様式第15号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書（様式第16号）
- (3) まちづくり計画（地域計画）などの計画書類（既に策定済みの地域のみ）
- (4) その他参考となる書類

様式第15号（第5条関係）

記載見本

令和 87 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書

協議会名 〇〇まちづくり協議会

活動No	1
活動名	<u>まちづくり計画策定事業</u>

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	計画策定を通して自分たちの地域の現状や課題を知る。 地区住民の意見を聴き、地域の将来像を決める。 地域の中の様々な組織・地区住民が連携してまちづくりを進めていく。
【効果】	地区住民の団結力を高める。 地域の中で新たなつながりが生まれる。 まちづくり活動の参加のきっかけになる。

2 実施期間 ※4月～事業実施の場合は「事前着手届」が必要

令和 8 年 4 月 1 日 ～ 令和 10 年 3 月 31 日
 （計画期間 2 年中 1 年目）

3 実施場所

〇〇会館、〇〇公民館、〇〇地区各世帯

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 520 人（ア＋イ）
 （内訳）企画運営に関わる人数：20 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）：500 人（イ）
 ○団体：（団体名） 〇〇まちづくり協議会，（団体名） 〇〇公民館
（団体名） 〇〇自主防災会，（団体名） 〇〇婦人会

5 実施内容

まちづくり計画策定事業については、別添「まちづくり計画策定スケジュール」のとおり進めていく予定。
 計画策定1年目の今年度は、まちづくり計画策定部会をつくることから始め、地区住民の声を聴くためのアンケートの作成や、聴き取った意見を整理するところまで進めていくことを目標とする。

6 予算額

50,000 円（うち交付金分 50,000 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

様式第16号（第5条関係）

記載見本

令和 8 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書

協議会名 ○○まちづくり協議会

活動No	1
活動名	まちづくり計画策定事業

【収入の部】 （単位：円）

費 目	金 額	摘 要
市交付金	50,000	当該年度分
	0	前年度からの繰越分
その他収入	0	
計	50,000	

【支出の部】 （単位：円）

費 目	金 額	摘 要
報償費	0	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	0	〃
需用費	45,000	〃
役務費	0	〃
使用料及び賃借料	5,000	〃
備品購入費	0	〃
	0	〃
	0	〃
計	50,000	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

《収支予算内訳書1》

記載見本

報償費

内 容	金 額	積 算
記入例) 講師謝礼	50,000	10,000円×5回
計	0	

旅費

内 容	金 額	積 算
記入例) アドバイザー旅費	15,400	岡山駅⇄笠岡駅 1,540円×10回=15,400円
計	0	

需用費

内 容	金 額	積 算
記入例) 飲料費	8,000	作業用お茶代100円×20人×4回
会議用資料印刷代	10,000	50円×20人×10回
アンケート印刷代	35,000	70円×世帯配布500部

《収支予算内訳書2》

需用費

内 容	金 額	積 算
計	45,000	

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5,040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5,040円
計	0	

《収支予算内訳書3》

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
計	5,000	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハン ディーカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合はまちづくり課へ連絡ください。

様式第5号（第5条関係）

記載見本

令和 年 月 日

日付は空欄のまま提出してください。

笠岡市長 殿

所在地 笠岡〇〇123-45
 協議会名 〇〇まちづくり協議会
 協議会長名 会長 笠岡 太郎



令和 8 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付請求書

令和 8 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）を請求します。

記

請求額 金 410,000 円

※振込口座

金融機関名	●●	銀行・信用組合 信用金庫・農協	支店名	▲▲	本店 支店 出張所				
預金種目	普通・当座	口座番号 (右づめで記入)	1	2	3	4	5	6	7
フリガナ	〇〇マチヅクリキョウギカイ カイチヨウ カサオカ タロウ								
口座名義	〇〇まちづくり協議会 会長 笠岡 太郎								

令和8年度実績報告 関係様式 記入例

■運営交付金

1 実績報告書

【様式第8号】実績報告書 15頁

※返還金がない場合

【様式第9号】変更申請書（兼）実績報告書 16頁

※返還金がある場合

2 活動実績明細書

【様式第10号】活動実績明細書 17頁

3 収支決算書

【様式第11号】収支決算書 19頁

4 自己評価シート

自己評価シート 20頁

■活動交付金

1 実績報告書

【様式第22号】実績報告書 21頁

※返還金がない場合

【様式第23号】変更申請書（兼）実績報告書 22頁

※返還金がある場合

2 活動実績明細書

【様式第24号】活動実績明細書 23頁

3 収支決算書

【様式第25号】収支決算書 24頁

※前年度からの繰越金がない場合

【様式第25号の1】収支決算書 25頁

※前年度からの繰越金がある場合

4 自己評価シート

自己評価シート 26頁

令和 9 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所在地	笠岡市〇〇123-45
協議会名	〇〇まちづくり協議会
協議会長名	会長 笠岡 太郎

令和 8 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）実績報告書

令和 8 年 4 月 1 日付け笠岡市指令協第 1 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

1 交付金決算額 1,507,000 円

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）活動実績明細書（様式第10号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）収支決算書（様式第11号）
- (3) 支払書類（レシート等）の原本
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

笠岡市長 殿

所在地	笠岡〇〇123-45
協議会名	〇〇まちづくり協議会
協議会長名	会長 笠岡 太郎

令和 8 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）
変更申請書（兼）実績報告書

令和 8 年 4 月 1 日付け笠岡市指令協第 1 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり交付額の変更を申請します。併せて、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

- 1 変更交付申請額 1,436,000 円
(交付金決算額)

〔内訳〕

(単位：円)

交付決定額 (I)	変更交付申請額 (II) (交付金決算額)	返還額 (I) - (II)
1,507,000	1,436,000	71,000

- 2 交付金が減額変更になった理由

【例】

- ・活動内で講師を招待する予定だったがキャンセルになったため旅費の分が減額になったため。
- ・広報紙発行回数が減ったため、加算枠が返還になったため。
- ・コスト削減に努めたため。

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）活動実績明細書（様式第10号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）収支決算書（様式第11号）
- (3) 支払書類（レシート等）の原本
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

様式第10号（第5条関係）

令和 8 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）活動実績明細書

記載見本

協議会名 ○○まちづくり協議会

実施期間		令和 8 年4月1日 から 令和 9 年3月31日 まで	
開催結果	会議の種類	開催結果	
	総会 <small>※または総会に準ずるもの</small>	開催時期： 5 月，	開催形式： 対面
	その他会議	開催回数： 11 回	会議の種類： 理事会（6/20），定例会（5/28, 8/27, 11/26, 2/25）， ○○部会（5/14, 7/9, 9/10, 11/12, 1/14, 3/11）
活動費の活動結果	活動名	活動実施による成果及び課題	
	広報活動	成果 広報紙を発行することで住民にまちづくり協議会の活動内容を周知することができた。	①年3回発行した。 ②内容としては、 予算・活動計画を1回、 活動状況の報告を1回、 年度末に決算報告を1回、 計3回広報紙を発行した。 ③広報誌は各世帯に配布した。 ④笠岡市のHPで掲載した。 ⑤広報紙の他に、地区内の活動行事のチラシを発行し、各世帯に配布した。
		課題 広報紙の編集体制や各世帯に配布する負担が大きく、人員確保が難しい。	
	環境美化活動	成果 清掃活動によって地区の景観をきれいに保つことができた。 地区住民が協力して、地区内の環境美化を目的に住みよいまちづくりを推進することができた。	※広報活動の場合、 次の項目内容を必ず記載してください。 ①発行回数 ②広報紙の内容 ③配布方法 ④HPに載せているか？ ⑤その他の広報活動 （イベントチラシ配布など）
		課題 交流・人員確保のため、活動参加への呼びかけの工夫が必要。	
地域交流事業	成果 もちつき大会や子どもふれあい祭りなどイベントでは子どもから高齢者まで多くの地区住民が集まり、多世代交流ができた。	・百歳体操実施（毎週○曜日） ・もちつき大会開催（●月実施予定） ・子どもふれあい祭り開催（●月実施予定） ・サロン活動実施（毎月第△水曜日）	
花いっぱい運動事業	成果 今までつながりのなかった地元の団体と花いっぱい運動をとおして、新たな地域につながりができた。	花いっぱい運動として地域の中で花を植栽している団体に対して花苗代を助成した。 また、助成するだけでなく一緒に活動した。	
	課題 活動参加者の年齢層が高いため、若者の参加が求められる。		

※ 会議の開催結果及び活動費の開催結果の区分欄は、適宜変更して使用すること。

活動名	活動実施による成果及び課題		具体的な活動内容
活動費の活動結果	成果		
	課題		
	成果		
	課題		
	成果		
	課題		
行政間連携事業	成果	防災訓練では地区住民に対して積極的に参加を促し、地区の子どもから高齢者まで多くの地区住民が集まって実施できた。	市の危機管理課が示すモデルに準拠した方法の防災訓練を実施した。 防災訓練で非常食の試食・炊き出しを実施した。 災害発生時の資機材を整備した。
防災事業	課題	継続して防災訓練に参加してもらえるように広報に力を入れていく必要がある。 災害発生時の資機材整備の際、格納箱など老朽化が進んでいる場合は更新していく必要がある。	
行政間連携事業	成果	地区内の空き家の状況を行政と一緒に共有することができた。 危険家屋などの空き家に対して行政と一緒に調査を行ったことで早急に対応することができた。	市の都市計画課と一緒に地区内の空き家調査を行った。 調査結果をマップにまとめた。
空き家事業	課題	今回の調査結果から、次は空き家の利活用について地域のみinnで考えていきたい。 今回の調査に参加する地区住民が少なかったため、次年度以降は空き家事業の参加者を増やしていきたい。	

※ 会議の開催結果及び活動費の開催結果の区分欄は、適宜変更して使用すること。

様式第11号（第5条関係）

令和 8 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）収支決算書

記載見本

協議会名 ○○まちづくり協議会

【収入の部】

（単位：円）

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金(①+②)	(I) 1,507,000	(II) 1,411,000	96,000	
①市交付金	1,302,000	1,302,000	0	
②市交付金加算枠	205,000	109,000	96,000	
広報活動	50,000	0	50,000	広報発行数：年 3 回 交付金の種類：運営 交付金
まちづくり計画策定	25,000	0	25,000	策定期間：令和7~8年度 交付金の種類：活動 交付金
行政間連携事業	130,000	109,000	21,000	防災事業 空き家事業
その他収入	0	134,580	△ 134,580	
自主財源（加算枠返還分）	0	96,000	△ 96,000	
自主財源	0	38,580	△ 38,580	②市交付金加算枠について条件を達成することができず返還することになった場合は自主財源でまかなう必要がありますのでご注意ください。
計	1,507,000	1,545,580	△ 38,580	

【支出の部】

（単位：円）

費目	予算額	決算額	差引	摘要
人件費	660,000	660,000	0	別紙「【運営費】出納簿」のとおり
賃借料	240,000	240,000	0	〃
光熱水費	102,000	98,400	3,600	〃
運営費	185,000	172,880	12,120	
消耗品費	50,000	50,200	△ 200	別紙「【運営費】出納簿」のとおり
食糧費	12,000	10,000	2,000	〃
印刷製本費	25,000	40,500	△ 15,500	〃
修繕料	0	0	0	〃
通信運搬費	24,000	22,680	1,320	〃
手数料	2,000	1,500	500	〃
使用料及び賃借料	48,000	48,000	0	〃
旅費	24,000	0	24,000	〃
		0	0	〃
活動費	320,000	303,300	16,700	
広報活動	80,000	60,000	20,000	別紙「【活動費】積算資料①」のとおり
環境美化活動	20,000	37,000	△ 17,000	別紙「【活動費】積算資料②」のとおり
地域交流事業	60,000	74,800	△ 14,800	別紙「【活動費】積算資料③」のとおり
花いっぱい運動事業	30,000	22,500	7,500	別紙「【活動費】積算資料④」のとおり
		0	0	別紙「【活動費】積算資料⑤」のとおり
		0	0	別紙「【活動費】積算資料⑥」のとおり
		0	0	別紙「【活動費】積算資料⑦」のとおり
行政間連携事業	130,000	109,000	21,000	
防災事業	80,000	80,500	△ 500	別紙「【活動費(行政間連携)】積算資料⑩」のとおり
空き家事業	50,000	28,500	21,500	別紙「【活動費(行政間連携)】積算資料⑪」のとおり
加算枠返還金	0	96,000	△ 96,000	
			0	
計	1,507,000	1,570,580	△ 63,580	決算額のうち市交付金分 (II) 1,411,000

市交付金の返還額

(I) - (II) 96,000 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

記載見本

自己評価シート

(令和 8 年度)

No. 1

協議会名	〇〇まちづくり協議会
活動名	広報活動

活動目的	交付金申請時に作成された「活動計画書」から活動目的を転記してください。
活動内容	別エクセルの「活動実績明細書」から活動内容を転記してください。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	2
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	4
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	4
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	4
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	4
	活動をととして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	4
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	4

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
別エクセルの「活動実績明細書」から活動実施による成果が転記されます。	別エクセルの「活動実績明細書」から活動実施による課題が転記されます。
今後の活動の方向性・改善策	
活動実施による成果・課題等、活動の振り返りや改善点について協議会内で話し合いのうえ、次年度以降の活動に向けた改善策や、今後どのように活動を実施していきたいかなどを記載ください。 ※記載内容をもとに、外部有識者等第三者による評価を行いますので、できるだけ詳細に記載ください。	

笠岡市長 殿

所在地	笠岡市〇〇123-45
協議会名	〇〇まちづくり協議会
協議会長名	会長 笠岡 太郎

令和 8 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）実績報告書

令和 8 年 4 月 1 日付け笠岡市指令協第 2 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

1 交付金決算額 50,000 円

〔内訳〕

(単位：円)

交付決定額 ①	交付金決算額	
	当該年度支出額 ②	次年度繰越額 ③
50,000	44,000	6,000

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第24号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書
(様式第25号又は様式第25号の1)
- (3) 支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

笠岡市長 殿

所在地	笠岡市〇〇123-45
協議会名	〇〇まちづくり協議会
協議会長名	会長 笠岡 太郎

令和 8 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）
変更申請書（兼）実績報告書

令和 8 年 4 月 1 日付け笠岡市指令協第 2 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり交付額の変更を申請します。併せて、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

- 1 変更交付申請額 44,000 円
(交付金決算額)

[内訳]

(単位：円)

交付決定額 ①	変更交付申請額 (交付金決算額)		返還額 ④
	当該年度支出額 ②	次年度繰越額 ③	
50,000	44,000	0	6,000

- 2 交付金が減額変更になった理由

部会の人数が予定人数より減ったためその分の資料印刷代が減額となった。
アンケート印刷代が予算金額より抑えられ減額となった。

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第24号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書
(様式第25号又は様式第25号の1)
- (3) 支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

様式第25号（第5条関係）

記載見本

令和 8 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 ○○まちづくり協議会

活動No	1
活動名	まちづくり計画策定事業

別エクセルの実績報告書(交付決定額)へそれぞれ転記してください。
 ※複数事業がある場合、全ての事業の合計額を実績報告書に転記願います。

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 50,000	44,000	6,000	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	50,000	44,000	6,000	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	0	0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費	0	0	0	〃
需用費	44,000	39,000	5,000	〃
役務費	0	0	0	〃
使用料及び賃借料	6,000	5,000	1,000	〃
備品購入費	0	0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	50,000	44,000	6,000	決算額のうち市交付金分 ② 44,000

市交付金の余剰金 ①－② 6,000 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 6,000 円 返還額 ④ 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

別エクセルの実績報告書(交付決算額)へそれぞれ転記してください。
 ※複数事業がある場合、全ての事業の合計額を実績報告書に転記願います。

様式第25号の1（第5条関係）

記載見本

令和 8 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 ○○まちづくり協議会

活動No	1
活動名	まちづくり計画策定事業

別エクセルの実績報告書(交付決定額)へそれぞれ転記してください。
 ※複数事業がある場合、全ての事業の合計額を実績報告書に転記願います。

【収入の部】

(単位：円)

区分	予算額(I)	決算額(II)	差引	摘要
市交付金	① 35,000	② 29,000	6,000	当該年度分
	⑤ 15,000	⑥ 15,000	0	前年度からの繰越分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
計	50,000	44,000	6,000	

【支出の部】

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	0	0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費	0	0	0	〃
需用費	45,000	39,000	6,000	〃
役務費	0	0	0	〃
使用料及び賃借料	5,000	5,000	0	〃
備品購入費	0	0	0	〃
	0	0	0	〃
	0	0	0	〃
計	50,000	44,000	6,000	決算額のうち市交付金分 ②+⑥ 44,000

< 交付金内訳 >

		当該年度分		前年度からの繰越分	
予算	(I)のうち	①	35,000	⑤	15,000
決算	(II)のうち	②	29,000	⑥	15,000
余剰金		①-②	6,000	⑤-⑥	0
	うち次年度繰越額	③	0	(次年度繰越額)	
	うち返還額	④	6,000		

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること

別エクセルの実績報告書(交付決算額)へそれぞれ転記してください。
 ※複数事業がある場合、全ての事業の合計額を実績報告書に転記願います。

記載見本

自己評価シート

（令和 8 年度）

No. 1

協議会名	〇〇まちづくり協議会
活動名	まちづくり計画策定事業

活動目的	「活動実績明細書」から活動目的が転記されます。
実施内容	「活動実績明細書」から実施内容が転記されます。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみんなで共有することができたか。	4
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	4
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	4
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	4
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	4
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	4
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	4
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	4

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
「活動実績明細書」から活動実施による成果が転記されます。	「活動実績明細書」から活動実施による課題が転記されます。

今後の活動の方向性・改善策

活動実施による成果・課題等、活動の振り返りや改善点について協議会内で話し合いのうえ、次年度以降の活動に向けた改善策や、今後どのように活動を実施していきたいかなどを記載ください。
--